

令和 6 年度沖縄ライフサイエンス研究センター指定管理者制度運用委員会
におけるモニタリングの検証結果について
(令和 5 年度実績分)

1. 施設名：沖縄ライフサイエンス研究センター
2. 開催日時：令和 6 年 8 月 1 日（木） 14:00～16:00
3. 開催場所：沖縄ライフサイエンス研究センター会議室
(沖縄県うるま市字州崎 5 番 8)
4. 出席者：委員 4 人中 4 人出席
(会 長) 琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 新里 尚也
(委 員) 来間税理士事務所 税理士 来間 博一
(委 員) 沖縄科学技術大学院大学 施設管理セクションリーダー
シニアマネージャー 甲斐 敦夫
(委 員) 株式会社 AVSS 沖縄研究室 統括研究員 春山 貴弘
(事務局) 科学技術振興課
(指定管理者) イノベーションサポート沖縄株式会社
5. 検証事項：沖縄ライフサイエンス研究センター（令和 5 年度実績）に係る
モニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
 - ・施設の管理運営は概ね適切になされている。
9. 主な質疑・意見
 - (1) 空調機修繕について
質問：空調設備の不具合がかなり多くなってきており、修繕まで数カ月かかることもある。空調修繕迅速化についてどう考えているか。
回答：令和 6 年度からは、未修繕の箇所について、故障する前に部品を取り換えていくという方針で修繕をかけている。特に小研究室には空調機が 1 系統しかないので、そこを優先的に修繕していくことを検討している。
質問：空調機の更新についてはどう考えているか。
回答：耐用年数がまだ未経過のため、更新の場合は内閣府との協議が必要とな

る。故障する前の更新となるとさらに協議が難しくなると思われる。

意見：重要な部屋のみでよいと思うが、バックアップとして家庭用ルータを置いてはどうか。

(2) インターネットについて

質問：インターネットに関する要望が多くなっているが、何か環境に変化があったのか。

回答：特に施設として変わりはないが、要望の一つはフリーWi-Fiの繋がりにくさ、もう一つは各研究室へのインターネット回線については、入居者の負担にて配線工事を行っているので、その手続きや工事等に係る時間に関する不満かと思われる。フリーWi-Fiの繋がりにくさについては、指定管理者にてWi-Fiを2台追加して対応した。配線工事については、状況を確認し検討したい。

質問：この施設は光回線がきていないのか。

回答：すぐには経緯が不明なので確認する。

→（後日、調査結果）電気室までは光回線が設置されており、入居者にて配線工事を行えば光回線の使用は可能。

意見：セキュリティも含め光回線については、早急に対応すべき問題かもしれない。抜本的にどうするか考えた方がよい。

(3) 雨漏りについて

質問：施設の雨漏りはまだあるか。

回答：令和4年度に全面的にシーリング工事を行った結果、今のところは大きな被害はない。台風時にも特に被害はなかった。

(4) 経営分析シートについて

質問：計画時点で赤字を見込んでいるが、電気代等高騰の見込か。

回答：電気代等の見込みである。結果としては、公的支援や外部機器利用が好調であったため黒字となっている。

意見：事業収入は入居率100%ということで収入も上がっており、支出関係も指定管理者の方でコントロールできないような要因も見込まれた中で費用を抑え、結果として黒字になっていることより、全体的に安定的な経営ができていると思われる。

10. 会議の公開状況：公開